

～絶滅が危惧されている清楚な花～ ハナハタザオ 咲いています

ハナハタザオは山地や海岸の砂地などに自生する希少植物で、環境省レッドリスト（2020）・茨城県版レッドデータブック（2012）では、絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。国営ひたち海浜公園で、例年6月から7月に開花期を迎えるハナハタザオが、現在「砂丘エリア」で咲いています。開花時期にあわせて実施するガイドツアーでは、公園ボランティアの「野生植物パートナー」が、圃場での育成や増殖活動、自生地等をご案内します。



ハナハタザオ 撮影/2024年6月2日

◆名前の由来は旗竿

「旗竿のように1本茎で立ち、きれいな花を咲かせること」が名前の由来とされているハナハタザオは、高さ15～50cm、直径1cmほどの紅紫色の花を咲かせます。主な自生地は、茨城県、山梨県、熊本県などで、ごく近い将来、野生での絶滅の危険性が極めて高い希少な植物です。

【ハナハタザオ】

■分類/アブラナ科ハナハタザオ属 ■開花時期/6月上旬～7月中旬 ■場 所/砂丘エリア



砂丘エリア
(2024年6月5日撮影)

◆希少植物が自生する砂丘環境

希少植物が自生している砂丘エリアは、久慈川から流出した砂が漂砂となり海岸に堆積、その砂が北東風により押し上げられたことで形成されています。近年は周辺の開発等により、砂の供給が減少し、砂丘の景観や海浜植生等に大きな影響が出ているため、保全活動を行っています。

◆希少な植物を間近で感じるガイドツアー

砂丘エリアでは、ハナハタザオの開花期にあわせガイドツアーを開催します。公園ボランティアの「野生植物パートナー」が、ハナハタザオをはじめとする希少な海浜植物の自生地等をご案内する観察会です。「野生植物パートナー」は、希少植物の開花株数調査や圃場での育成、増殖活動など、年間を通して希少な動植物が息息・生育する砂丘環境を守る活動をしています。

【ハナハタザオガイドツアー】

■日 程/6月2日(日)・9日(日) ■時 間/①10:00～ ②11:00～
■場 所/砂丘エリア ■受 付/事前申込制(029-265-9001) ■参加費/無料
■定 員/各回20名 ■雨 天/中止 ■協 力/野生植物パートナー



ハナハタザオガイドツアー
(2024年6月2日撮影)

Information

みはらしの丘ではコキアの植え付けが始まります。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>